

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

令和2年度川崎市総合防災訓練について

資料1 令和2年度川崎市総合防災訓練
（第41回九都県市合同防災訓練）概要

資料2 訓練会場（全体）

資料3 訓練項目一覧

参考資料1 令和2年度川崎市防災訓練実施計画

参考資料2 令和2年度各区総合防災訓練日程一覧

参考資料3 令和元年度及び令和2年度 訓練写真

令和2年10月6日

総務企画局

令和2年度川崎市総合防災訓練（第41回九都県市合同防災訓練）概要 ～防災から始まる、力強いまち～

1 目的

川崎市直下型地震等の地震災害や大型台風による風水害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、自主防災組織、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確認するとともに、地域防災力の強化を図る。

特に、今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、集客性を伴う訓練や啓発関係等については実施しないこととし、令和元年東日本台風の教訓を踏まえ、複合災害を見据えた指定緊急避難場所の開設・運営訓練のほか、発災時における防災関係機関の連携強化を目的とした応急対策訓練の実施等コロナ禍においても「より実践的」な総合防災訓練を目指す。

2 実施日時

令和2年11月8日（日）9：00～12：00（避難所開設訓練は8：30～）

3 訓練想定

（1）地震災害

- ア 想定地震 川崎市直下を震源とする地震
- イ 発生日時 令和2年11月8日（日）6時00分
- ウ 地震規模 マグニチュード7.3
- エ 最大震度 7

（2）風水害

地震災害の想定とは別に、市総合防災訓練の機会を捉え、中原区が主体となって、コロナ禍における台風接近に備えた訓練を実施する。

4 訓練の特徴

（1）防災関係機関相互の連携強化と実践的な災害時応急対策訓練

人命に係る救出救助訓練について、発災初動期を想定し、防災関係機関（警察・消防・自衛隊）が相互に連携したブラインド型訓練を実施する。

（2）救援物資輸送・受入訓練

災害時における物資の集積拠点として指定されている等々力球場について、新球場完成の機会を捉え、救援物資輸送・受入訓練を行う。

（3）複合災害を見据えた指定緊急避難場所の開設・運営訓練

令和元年東日本台風の経験を踏まえた課題や新型コロナウイルス感染症の蔓延を鑑み、新型コロナウイルスと風水害の複合災害を見据えた開設・運営訓練を行い、区本部との情報伝達や地域との連携を図る訓練を実施する。

（4）情報受伝達訓練

市及び区の災害対策本部と避難所等各会場間での情報伝達訓練を実施する。

5 訓練会場(資料2 「訓練会場(全体)」参照)

- ・宮内中学校 中原区宮内4-13-1
- ・等々力球場 中原区等々力1
- ・FUSOグリーンガーデン 中原区上平間1668

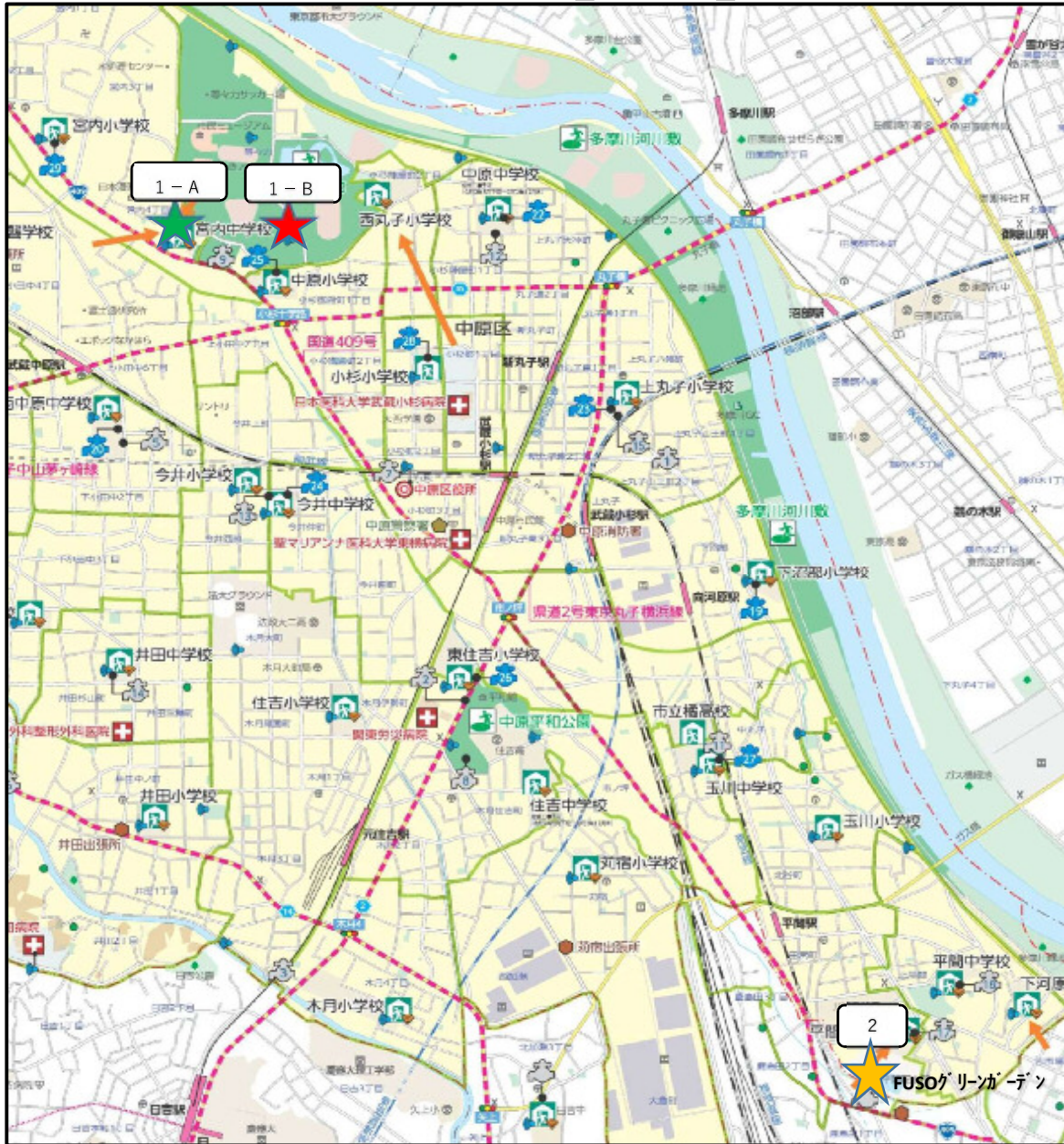
6 訓練参加予定機関数・人数

16機関(自主防災組織5団体含む)、約200名(見込み)

7 令和2年度九都県市合同防災訓練(幹事都市会場)

- (1) 九都県市幹事都県市 埼玉県(川口市と共催)
- (2) 実施日時 11月1日(日) 10:00~12:30
- (3) 実施場所 SKIPシティ(川口市上青木3丁目)ほか

訓練会場【全体】



訓練会場 1 - A 宮内中学校

- 1 避難所開設訓練
- 2 避難所運営訓練
- 3 救援物資受入訓練

訓練会場 1 - B 等々力球場

- 1 救援物資輸送訓練

訓練会場 2 FUSOグリーンガーデン

- 1 災害時応急対策訓練
(救出救助訓練)

訓練項目一覧

●宮内中学校（8:30～12:00）

	訓練項目	参加機関・団体
1	避難所開設訓練（風水害）	・川崎市 （中原区避難所運営要員、避難所運営支援要員、施設管理者）
2	避難所運営訓練（風水害）	・中原区自主防災組織 ・川崎市 （中原区避難所運営要員、避難所運営支援要員、施設管理者）
3	救援物資受入訓練（震災）	・宮内中学校避難所運営会議 （自主防災組織、避難所運営要員、施設管理者）

●等々力球場（9:30～10:30）

	訓練項目	参加機関・団体
1	救援物資輸送訓練（震災）	・陸上自衛隊（東部方面混成団第31普通科連隊） ・川崎市 （建設緑政局、市災害対策本部事務局受援班、中原区本部）

●FUSOグリーンガーデン（9:00～11:20）

	訓練項目	参加機関・団体
1	災害時応急対策訓練（震災）	・陸上自衛隊（東部方面混成団第31普通科連隊） ・神奈川県警察（危機管理対策課） ・神奈川県警察（第二機動隊） ・神奈川県警察（中原警察署） ・川崎市（消防局、中原消防署、中原区本部）

●市・区災害対策本部、各会場（8:30～12:00）

	訓練項目	参加機関・団体
1	区本部情報受伝達訓練（震災・風水害）	・川崎市 （市災害対策本部事務局総務班、中原区本部ほか）

令和2年度川崎市防災訓練実施計画

1 趣旨

本計画は、川崎市地域防災計画（以下「地域防災計画」という。）に基づき、令和2年度に川崎市で地域防災力の強化のため実施する防災訓練について、その目的・実施方針等を定めたものである。

2 目的

防災訓練は、市民、企業、市及び防災関係機関等が、災害時における防災活動の円滑な実施を期するために、相互に連携しながら、防災力の向上を図ることを目的とする。

次に掲げる事項を重点項目として実施することとし、訓練及び令和元年東日本台風対応から抽出した課題、検証結果等は、随時改善し、各種マニュアルに反映させるなど、防災体制の強化に努めるものとする。

特に、台風対応から抽出した課題、検証結果等の短期的反映については、出水期前の実施に配慮して取り組む。

- (1) 災害時における市及び防災関係機関等の役割分担の確認及び相互の連携強化
- (2) 市及び防災関係機関等の迅速な初動体制及び円滑な災害応急対策の確立
- (3) 市及び防災関係機関等が定める防災計画、マニュアル等の検証及び継続的な改善
- (4) 国や神奈川県、九都県市、他の自治体等との連携及び広域的な応援・受援体制の強化
- (5) 市民一人ひとりが、防災に関する意識を高め、訓練等を通じた地域防災力の向上

3 実施方針

今年度の防災訓練は、次の項目に沿って実施することとする。

特に上半期は、風水害対応に目を向けた訓練に重点をおいて実施する。

(1) 多様な主体が参加・連携する訓練の推進

多様な主体の参加・連携を促し、各個人、各団体が、防災・減災に関する意識・知識を高め、災害に対する行動力を向上させる訓練を推進する。

(2) 災害の特性や地域の実情に応じた訓練の推進

土砂災害や河川の氾濫、津波などの風水害の危険がある地域や、コンビナート災害のおそれのある地域等において、情報伝達や避難誘導の訓練を実施するなど、災害の特性や地域の実情に応じた必要な訓練を実施する。

(3) 実践的な訓練の推進

地震、風水害などの災害種別やその規模、参加者の状況等をよく考慮し、具体的な想定に基づき、実動訓練・図上訓練等、最も効果的な訓練方法を選択の上、実施する。

実施にあたっては、より実践的な訓練となるよう、想定や実施方法を工夫するとともに、参加者の習熟度に応じ、段階的かつ継続的な訓練となるよう配慮する。

(4) 応急対策や広域応援・受援体制の検証

訓練を通じて、地域防災計画や各種協定、各種マニュアル等に基づいた、市及び防災関係機関等による応急対策業務について検証する。

また、国や神奈川県、九都県市、他の自治体等との緊密な連携のもと、広域的な情報の受伝達

訓練を実施するとともに、応援協定等に基づき、広域応援及び受援の体制について検証する。

4 予定されている訓練

(1) 令和2年度川崎市総合防災訓練（第41回九都県市合同防災訓練川崎市会場）

本訓練は、地震災害や風水害の発生に備え、市民、企業、市及び防災関係機関等が、被害を最小限に食い止めるため、緊密な連携をとり一体となって、迅速かつ確かな災害応急対策活動に資するものとする。今年度は、中原区を中心に実施する。

ア 主な訓練項目と会場

- (ア) 中原区内指定避難所開設訓練 : 宮内中学校
- (イ) 救援物資輸送訓練 : 等々力球場
- (ウ) 救出・救助訓練 : FUSOグリーンガーデン
- (エ) 情報受伝達訓練 : (ア)～(ウ)の各会場及び市本部（本庁）及び区本部（区役所）

イ 日時

(ア)～(エ)は、いずれも11月8日（日）9:00～12:00を予定

(2) 各区の防災訓練

各区において、地域住民、企業、防災関係機関等と連携し、それぞれの地域特性に応じて、各区毎に複数回、実践的な訓練を実施する。

(3) 主体ごとの訓練（個別訓練）

市民、企業、市及び防災関係機関等は、自助・共助・公助の理念に基づき、それぞれで定める防災計画・マニュアル等に基づいた個別訓練を主体的に実施する。

また、目的や内容に合わせ、必要に応じ、随時各主体同士が相互に連携した実践的な訓練を行うこととし、市は、それを支援する。

ア 市の訓練

地域防災計画に基づき、地震、風水害等災害発生時に、迅速かつ確かな災害応急対策活動が実施できるよう、防災関係機関等と連携した必要な訓練を実施する。

(ア) 市災害対策本部訓練

大規模災害時に設置される災害対策本部において、市の災害対策活動につき、的確かつ効率的に把握・指揮・運用できるよう、図上訓練を中心に実施する。

出水期にあわせ7月に風水害を想定した図上訓練を実施する。

(イ) 各部・区本部における訓練

a 職員参集シミュレーションを年度当初に確定する地震時の動員区分に基づき各部・区本部毎に実施し、大規模災害発生時の迅速な初動体制を確認するとともに所属員（部員）の役割を確認する。

b 地域防災計画・業務継続計画等に定める各部・区本部の分掌事務に基づき、それぞれの細部計画、マニュアル等の検証・見直しを図るとともに、職員の災害対応能力の向上、防災意識の高揚を図るため、各部・区本部ごとにそれぞれ独自の訓練を計画し実施する。

(ウ) 広域連携訓練

九都県市相互間の広域応援・受援等の広域防災体制の強化のために九都県市と連携した訓練を実施する。

イ 防災関係機関の訓練

災害発生時に所管業務が迅速かつ的確に実施できるよう、各種防災計画・マニュアル等に基づいた訓練を実施する。

ウ 企業の訓練

災害発生時に顧客、従業員等の安全確保及び設備等の防護措置に重点をおいた訓練を、各種防災計画・マニュアル等に基づき実施する。

エ 自主防災組織の訓練

「自らの生命は自ら守る。地域のことは地域で守る。」という防災の基本に則した訓練を実施する。

オ 各家庭・個人の訓練

市民は、地域や行政が行う防災訓練に積極的に参加するなど様々な災害事象に関する知識の習得に努め、必要な備えを行うとともに、各自の実情を考慮し、発災時を想定した訓練を実施する。

5 人材育成研修

(1) トップマネジメント研修

ア 市災害対策本部訓練と連携した研修を実施する。

イ 各局区長を対象にした研修を実施する。

(2) 外部機関等を活用した人材育成研修

災害対策トレーニングセンターの活用等を図る。

【参考】令和2年度 川崎市防災訓練予定

	4 (1)	4 (2)	4 (3)	
			ア	イ、ウ エ、オ
4月		↑ 随時実施 ↓		
5月				
6月				
7月			第1回市災害対策 本部訓練（風水害）	
8月				
9月				
10月				
11月	8日 市総合防災 訓練			
12月				
1月			第2回市災害対策 本部訓練（地震）	
2月				
3月				

令和 2 年度各区総合防災訓練の日程一覧

令和 2 年 9 月末日現在

	第 1 回目	第 2 回目
川崎区	【日時】 令和 2 年 1 0 月 1 7 日 (土) 【場所】 旭町小学校	【日時】 調整中 【場所】 田島地区で調整中
幸区	【日時】 令和 3 年 2 月 1 3 日 (土) 【場所】 日吉中学校	中止 (自主防災組織総会決議による) ※コロナ禍を考慮し今年度は 1 回
中原区	【日時】 令和 2 年 1 1 月 8 日 (日) 【場所】 等々力緑地、宮内中学校等	【日時】 令和 3 年 2 月頃 【場所】 玉川地区で調整中
高津区	【日時】 令和 2 年 1 1 月 7 日 (土) 【場所】 南原小学校	【日時】 令和 3 年 3 月 7 日 (土) 【場所】 橘小学校
宮前区	調整中	調整中
多摩区	調整中	中止 (避難所運営会議決議による) ※コロナ禍を考慮し今年度は 1 回
麻生区	【日時】 令和 2 年 1 1 月 1 日 (日) 【場所】 旧白山中学校 ※前日から避難所体験訓練実施 (宿泊)	【日時】 令和 3 年 2 月 1 3 日 (日) 【場所】 はるひ野小・中学校

令和元年度 川崎市総合防災訓練（幸区）



災害時応急対策訓練①



災害時応急対策訓練②



救援物資輸送訓練

令和2年度 市内で実施された訓練（抜粋）

